



I Peace, Inc (アイ・ピース株式会社)
809 San Antonio Road, Suite 7, Palo Alto, California 94303 U.S.A.
WEB: <https://ipeace.com/>

2025 年 6 月 25 日

I Peace, Inc.

アイ・ピース、SBI ウェルネスバンクのネットワークを活用し

個人向け iPS 細胞バンキング「MyPeace」をさらに拡大

iPS 細胞バンキング企業アイ・ピース(I Peace)はこのほど、SBI ホールディングス株式会社の子会社である SBI ウェルネスバンク株式会社と iPS 細胞バンキングのさらなる推進に向けた協業を開始しました。SBI ウェルネスバンクの提携医療機関である、医療法人社団 T.O.P.ドクターズ 東京国際クリニック(東京都千代田区)がアイ・ピースの個人向け iPS 細胞バンキング「MyPeace」の推進に向けた活動を開始いたします。

今回の提携は、2025 年日本国際博覧会(大阪・関西万博)において大阪ヘルスケアパビリオンに協賛している SBI ホールディングス株式会社と、アイ・ピースとの協力関係をもとに実現いたしました。

この推進活動により、アイ・ピースが持つ世界最高水準の iPS 細胞作製・保管技術と、SBI ウェルネスバンクが提供する健康管理支援および予防医療サービスを組み合わせ、従来にない新たな価値をもつ予防医療サービスの提供を実現すると共に、SBI ウェルネスバンクの医療ネットワークを活用し、iPS 細胞を活用した先進医療への備えをこれまで以上に多くの方々にお届けしてまいります。

個人向け iPS 細胞バンキング「MyPeace」は、近い将来に実現が見込まれる iPS 細胞由来再生医療やパーソナライズド医療に備えて、本人の細胞から作製した iPS 細胞を長期保管するサービスです。アイ・ピースが提供する iPS 細胞は、厚生労働大臣の製造許可・承認を受けた国内施設で製造されており、米国 FDA の基準にも準拠した高度な品質管理体制のもとで作られています。すでに iPS 細胞技術を活用した再生医療や創薬研究は実用段階

に入りつつあり、一部の治療領域では既に臨床応用が開始されています。したがって MyPeace を通じて個人の細胞を作製し保存しておくことは、これまでは考えられなかった近未来の医療への新しい備えとなります。

I Peace, Inc. について

iPS 細胞ならびに iPS 細胞由来細胞療法に特化する GMP 細胞開発製造受託企業アイ・ピース (<https://www.ipeace.com>) は、cGMP iPS 細胞の販売、及び医療用細胞の製造受託サービスをグローバルに展開しています。京都大学山中伸弥教授の研究室出身で、世界で初めてヒト iPS 細胞の樹立成功を報告した論文の第二著者でもある田邊剛士 によって 2015 年に立ち上げられた会社です。iPS 細胞の開発当初から研究に従事してきた田邊は、アイ・ピースを通じ iPS 細胞を全ての人々の手に届くものとすることを目指し、日々革新的な技術開発に取り組んでいます。アイ・ピース独自の技術により、コンタミネーションの懸念なく複数のドナー由来の iPS 細胞を並行して製造することができ、多数の iPS 細胞を適切な価格で提供することが可能となりました。PMDA・FDA 基準に沿った高品質細胞製品として弊社の iPS 細胞その他細胞製品を製薬会社・細胞医療開発会社に利用していただくことを通じ創薬・細胞医療開発を支援し、また、世界中の一人一人が自分自身の iPS 細胞を持つことにより将来に備えることができるように個人向けの iPS 細胞製造・バンクングサービスを進めています。細胞医療が一日も早く患者さんの手が届くものとなるよう、再生細胞医療の一日も早い普及を目指しています。

I Peace, Inc.

創始者・CEO：田邊剛士 (Koji Tanabe)

創立：2015 年

本社所在地：米国カリフォルニア州パロアルト

日本子会社：I Peace, Ltd. (アイ・ピース株式会社)、京都市

iPS 細胞製造拠点：京都市

ウェブサイト <https://www.ipeace.com>